

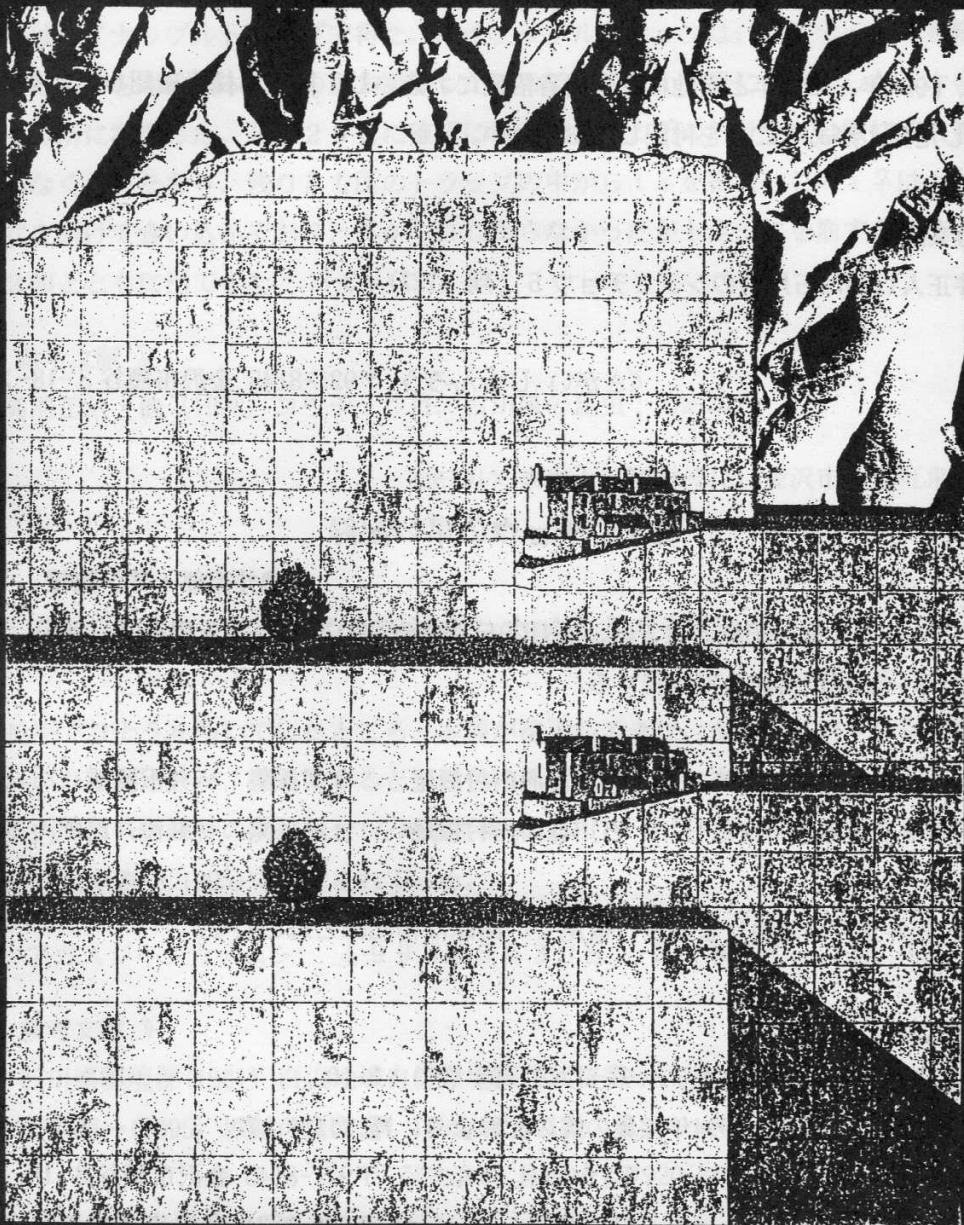
翔

百万石蝶談会

No. 134

October

1998



河内村板尾のスギタニルリシジミ

嵯峨井淳郎

石川郡河内村板尾は、ミヤマカラスアゲハの豊産で有名な好採集地であるが、松井正人(1997)によればスギタニルリシジミの過去の記録が無いようなので記録しておきたい。

1993年5月29日	石川郡河内村板尾	1♂採集	嵯峨井淳郎
1994年5月14日	石川郡河内村板尾	2♂採集	嵯峨井淳郎
1996年5月18日	石川郡河内村板尾	2♂目撃	嵯峨井淳郎
1997年5月10日	石川郡河内村板尾	3♂目撃	嵯峨井淳郎

なお、1994年、1996年と同地にて生田省悟氏にお逢いし、同氏も採集確認している旨の会話をした覚えがあることを付記しておきたい。

《 参考文献 》

松井正人(1997)石川県のシジミチョウ5, 翔(127):3-8.

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

ミスジチョウの早い記録

嵯峨井淳郎・井沢國雄

ミスジチョウの早い記録としては、5月29日が報告されている(矢田新平, 1995)が、これより早い記録が出たので報告する。

1998年5月16日	石川郡河内村板尾	3♂採集	井沢國雄
1998年5月23日	石川郡河内村板尾	4♂採集	嵯峨井淳郎

なお、松井正人(1992)によると、板尾での記録は初記録と思われる。

《 参考文献 》

松井正人(1992)石川県のタテハチョウ3. 翔(98):3-10.

矢田新平(1995)1992~1994年採集の蝶の記録より. 翔(115):7.

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

《いざわ くにお 〒920-0831 金沢市東山3-3-35》

金沢市でネブトクワガタを採集

松井正人

石川県内のネブトクワガタの記録は少なく、小松市、金沢市、内灘町のわずかしら知られていない（高羽正治・他, 1998）。今回、金沢市において、これまで知られている場所と知られていない場所から、ネブトクワガタを採集したので報告する。

1998年7月 5日	金沢市神谷内	1♂	松井正人
1998年8月29日	金沢市不動寺	1♀	松井正人

2頭とも日中に採集したもので、神谷内の1♂はクヌギの樹皮のすき間から、不動寺の1♀はパイナップルトラップで得た。パイナップルトラップは、パイナップルを縦に4等分したものを木の根本にそのまま設置したもので、8月18日に4等分した1片をそれぞれ4カ所に設置した。8月29日に確認に行くと、1カ所のトラップは獣にでも盗られたのかなくなったおり、残り3カ所のトラップの中から1♀を得た。この1♀は、トラップに穴をあけて食い込んでおり、外からはわからなかったがトラップを崩すと、他のクワガタ2頭とともに出てきた。

《 参考文献 》

高羽正治・他（1998）コウチュウ目．石川県の昆虫：102-251.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

アカスジキンカメムシを採集

松井正人

長竿でコナラを叩いていたところ、本種が落下してきた。金緑色に鮮やかな赤筋が入りきれいな虫だったが、標本にすると金緑色は黒く変色してしまった。

県内では、白峰村の別当出合（石川県環境部, 1981）、尾口村（石川県環境部, 1981）、金沢城跡（大串龍一, 1995）で記録されている。

アカスジキンカメムシ	1998年5月30日	金沢市地代	1頭	松井正人
------------	------------	-------	----	------

《 参考文献 》

石川県環境部（1981）白山地域自然環境調査報告書：17-60.

大串龍一（1995）城跡の自然誌．133pp. 十月社.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

見越山のゴマシジミは大変

久 慈 一 英

石川県の白山周辺山地の岩場にはゴマシジミが棲んでいる。白峰村砂御前山に行けば容易に得られるが、金沢市に在住する者にとって、金沢市産のゴマシジミはどうしても避けて通れないものと思っていた。

7月25日は快晴で、単独で見越山行きを決行した。富山県側のブナオ峠に車を止めて、まず尾根沿いに赤摩木古山をめざす。しかし、快晴の7月下旬はひたすら暑い。少し登り始めたところで汗がだらだらと流れ、運動不足の体が悲鳴を上げる。急坂を少し登っては休んで、また登るということを繰り返した。ようやくの思いで赤摩木古山頂上に至る。ここにはゴマはいない。ここから、今度は急坂を一気に下り、また登るというハードな道で、登り切ってもそれは途中の起伏に過ぎず、目前に別のピークが見えてくる。1つのピークを登る度に「もうここでやめよう」という気持ちになる。しかし、少し休んで「あと1つピークを越せばゴマがいる」という希望が、先へ歩を進めた。これを何度か繰り返した後、本当の見越山山頂にたどり着くともう昼を過ぎていた。

ピーク付近はガスがかかり曇りであった。赤トンボが無数に飛び回り、キアゲハやミヤマカラスアゲハが旋回している。昼飯を食べながら、あたりを見回していると、目の前に黒い蝶が飛んできた。「これは！」と網を持つが、トンボの群に混じって見失ってしまった。同じくらいの大きさで高速に飛び回る蝶がおり、これはメスアカミドリシジミの雄だった。ピークの富山県側に崖があり、カライトソウが見える。この崖を見おろしていると、黒い蝶が上ってきた。慎重に捕らえると、念願のゴマシジミであった。1時間くらい粘り、もう1頭追加したが、2頭ともすでに少しスレており、発生の早いことが示された。

帰りがまた大変であった。足にきているので赤摩木古山への登りがつらい。そして登る時には感じなかったが、ブナオ峠までの距離がなんと長いことか。膝はガクガクになり、よろめきながら下り、峠の車が見えたときの喜びは説明しがたいものであった。もう二度と登ることはないだろうと思った。この日は土曜日にも関わらず誰とも会わなかった。猛暑の日に見越山へ行くのは、ゴマシジミにとりつかれた者のみの成せる業であろう。

ゴマシジミ 1998年7月25日 金沢市見越山山頂 2♂採集 久慈一英

後日、松井正人氏にゴマシジミは山の反対側に多いことを聞き、アサマシジミのポイントも聞くに及び、また見越山へ行こうと思う愚かな筆者であった・・・

《 参考文献 》

松井正人(1990) 金沢市でゴマシジミとアサマシジミを発見. 翔(86):1.

松井正人(1997) 石川県のシジミチョウ4. 翔(126):1-4.

《くじ いちえい 〒920-1161 金沢市鈴見台3丁目1-3》

日尾池のギフチョウ

松井 正人

日尾池は金沢市にあるが、国土地理院の地図には表示されていない。それほどに小さい池であり、また不便なところにある。2.5万分の1の地形図では、鶴来と湯涌が必要になり、5万分の1の地形図では鶴来と下梨が必要になる。5万分の1の地形図で話をすると、鶴来の右隅に吉次山（きちじやま）800mがある。その横に下梨を並べると左隅に高尾山（たかおやま）763mがあり、この吉次山から高尾山へかけての稜線上に日尾池がある。細かく言うと下梨側の等高線のまばらな所である。ここには日尾池のほか、二の池、三の池、カラ池と呼ばれる池がある。

この日尾池へ行くには、犀川上流の日尾集落跡付近から沢を詰めるか、草むらの中を有るか無いかの道を探しながら登るしかなく、さらに尾根にとりついてからも、藪こぎしながら池を探すのは大変な事だった。何度か行っている人でも、すんなり池にはたどり着けず、調子が良くて2時間、調子が悪いとたどり着けないような状態だった。

ところが近年、湯涌温泉から吉次山、高尾山を周回する登山道ができ、手軽に行けるようになった。車で標高約700mにある吉次山の採石場まで行き、そこから1時間程歩くと日尾池に着き、二の池、カラ池、三の池と簡単に巡ることができる。

1998年4月19日に西原昇吾氏と日尾池を訪れたところ、日尾池に着くやギフチョウを目撃した。池巡りをすると、日尾池以外の池には雪が有り、水は冷たかった。ギフチョウはその後もたびたび目撃したが、登山道に突然飛び出してくるのでなかなか採集できず、最終的に4♂を採集した。個体はすべて飛び古しており、羽化してからの時間の経過がうかがわれた。また、日尾池周辺にカンアオイ類は見あたらず、吉次山の登り（日尾池とは反対側）に一株だけを発見したにすぎない。

詳しく調査しないとわからないが、付近にカンアオイ類が見つからないことや、採集したギフチョウが飛び古した4♂なので、日尾池周辺で発生した個体とは考えにくく、どこかで発生した個体が尾根に登ってきたものと考えられる。これまでの調査では犀川の上流部でカンアオイ類は発見されていず、白見谷や高尾山では発見されているので、湯涌側から飛来した可能性が高い。

最後に、犀川側から日尾池への登山経験があり、今回同行いただいた西原昇吾氏に厚くお礼申し上げる。

ギフチョウ 1998年4月19日 金沢市日尾池 4♂採集 松井正人

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

石川県のエゾゼミ

松井 正 人

石川県のセミについては、あまり調査されていず、エゾゼミについても例外ではない。

本県のセミの記録が蓄積されだしたのは、徳本 洋氏による呼びかけ（徳本, 1995）以降であり、エゾゼミについては現在までの4年間の調査で能登地方が中心に調査され、金沢市以南についてはこれから調査が進む計画になっているので、今回の報告については、中間報告として受け取ってもらいたい。また、エゾゼミ類3種は声では聞き分けられないが、これまでの成虫の記録から、今回の報告では声だけでエゾゼミと判断した記録もある。

奥能登における分布は、標高50m付近から最も高い輪島市高洲山山頂に至り、平地から山地にかけて広く分布している。分布の最低標高は南下するに従い高くなり、金沢市では標高350m以上に分布している。更に南下した小松市には1カ所しか記録されていないが、標高320m付近と記録されている。7月中旬から9月下旬にかけて、鳴き声が聞かれる。

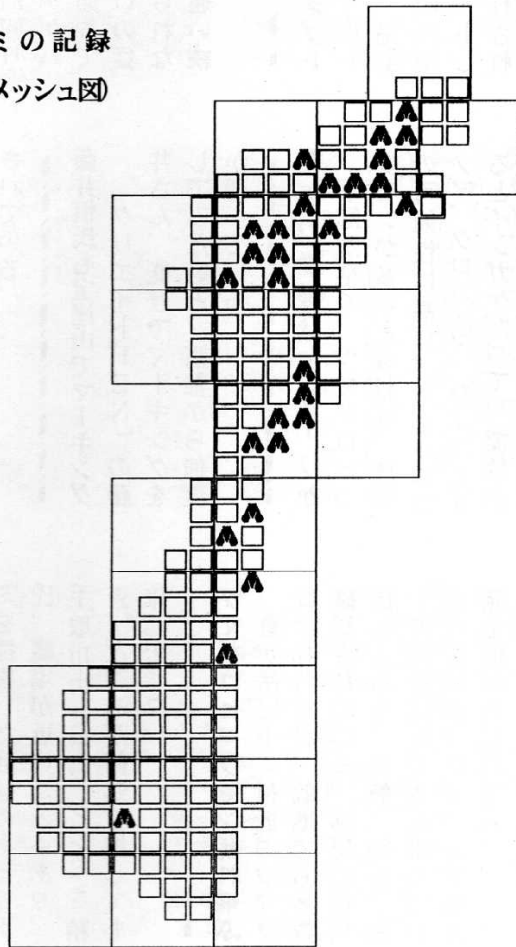
文 献

1997年7月21日	珠洲市延武	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年8月31日	珠洲市上戸	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年7月21日	珠洲市泥木	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年7月21日	珠洲市南山	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年7月20日	内浦町駒渡	声	松井正人	
1997年8月31日	内浦町明野	声	松井正人	(松井, 1997)
1989年9月 9日	輪島市高洲山山頂	1 ♀	松井正人	(松井, 1994)
1997年7月20日	輪島市三井坂田	2 ♂ 2 ♀	松井正人	(松井, 1997)
1997年7月20日	輪島市三井洲衛	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年8月30日	輪島市宝立山	1 ♂	松井正人	
1997年7月21日	柳田村神和住	声	松井正人	(松井, 1997)
1998年7月19日	柳田村中斉	声	松井正人	
1997年8月31日	能都町真脇	声	松井正人	(松井, 1997)
1994年8月 9日	能都町瑞穂大峰神社	声	松井正人	(松井, 1995)
1998年7月18日	能都町太田原	声	松井正人	
1997年7月20日	穴水町越の原	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年7月20日	穴水町七海	声	松井正人	(松井, 1997)
1997年7月21日	穴水町大角間	声	松井正人	(松井, 1997)
1995年9月15日	門前町谷口	声	松井正人	(松井, 1996)
1998年8月14日	鹿島町久江原山分	声	松井正人	
1998年8月14日	鹿島町原山峠	声	松井正人	
1998年8月14日	鹿島町荒山城址	声	松井正人	
1998年8月14日	鹿島町荒山峠	声	松井正人	
1998年8月14日	鹿島町石動山	声	松井正人	
1998年8月14日	七尾市城山展望台	声	松井正人	
1998年8月14日	七尾市多根	声	松井正人	
1998年8月14日	七尾市竹	声	松井正人	
1997年7月21日	富来町鶴野屋	声	松井正人	(松井, 1997)
1998年8月14日	羽咋市碁石ヶ峰	声	松井正人	
1998年8月14日	羽咋市神子原	声	松井正人	
1998年8月 8日	押水町宝達山	声	松井正人	
1998年8月23日	津幡町俱利伽羅	声	松井正人	

文 献

1995年8月17日	津幡町三国山	声	松井正人
1997年7月26日	金沢市キゴ山	声	松井正人
1995年8月 2日	金沢市医王の里	声	松井正人
1995年9月29日	金沢市折谷	声	松井正人
1990年8月19日	小松市大杉マセ山頂	声	武藤 明 (武藤, 1990)

エゾゼミの記録
(5倍地域メッシュ図)



《 参考文献 》

- 徳本 洋(1995)石川県内セミ分布情報の過去、現在. 翔(112) : 1-6.
- 武藤 明(1990)昆虫数種の生態と分布資料. とっくりばち(57) : 2-4.
- 松井正人(1994)石川県のセミの記録. 翔(107) : 10.
- 松井正人(1995)1994年におけるセミの記録. 翔(112) : 9-10.
- 松井正人(1996)平地で聞いたチッチゼミとエゾゼミ類の声. 翔(118) : 1.
- 松井正人(1997)平地に産する能登のエゾゼミ. 翔(129) : 8-9.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

久慈氏、ぶらっと医王山

スポーツセンターでツマゲロヒヨウモン♀を発見するも採集できず。残念無念。

オロロにめげず板尾通い

嵯峨井氏、今年は季節回りが早く、ミヤマカラスアゲハの三化は確実と板尾に通っている。ところが、オロロの猛攻にあつて車から降りられない。それにもめげず、通いつけている。

パイナップルトラップでネプト

松井氏、パイナップルトラップでネプトを採集。完全成熟のパイナップルを四つ切りにし、木の根本にセットしたらしいが、獣に横取りされなくてラッキーだった。

宝達山で大量マーキング

宝達山から遠のいていた松井氏、今年はせつせと通っている。昨今のアサギブームから、再捕獲の可能性が高まったのが原因らしい。

三化のカラス、ミヤマカラス

今年には虫の発生が早かった。おかげで、九月に入つて三化と思われるピカピカのカラスアゲハやミヤマカラスアゲハが、ボロに交ざつて観察されている。

藤井恒氏も宝達山でマーキング

「クリエイトPEN」の藤井さん、能登でマーキングを試してみたいと、京都から何度か通っている。

今年の迷蝶はアリアリか

季節が早く、ツマゲロヒヨウモンが多いとなれば、迷蝶の可能性は高い。ウスイロクノマ、クロクノマ、ひよつとするとイシガケだつて可能性がある。九四年に福井県で確認されたイシガケ、イチジクに付いている幼虫が見つけ易い。

片道六百キロの日帰りコース

井村、中西、野中の三氏、福島のオオタマを狙っていたが天候不順で調整つかず。一

人でもと出かけた中西氏を後から知つた井村氏は、片道六百キロの日帰りオオタマコースに出発するのだった。

ミヤマシジミは絶滅宣言か

かつて手取川でミヤマシジミを採集した経験のある富沢氏、職場が近いこともあり、手取川のミヤマシジミを精査。ところが何処を捜しても確認できない。

ツマゲロヒヨウモン乱れ飛ぶ

倉ヶ岳ピーク付近のツマゲロは有名だが、低地でも多数確認されている。高尾の笹川氏によると、大額、額谷、四十万付近にたくさん飛んでいるらしいが、ひよつとすると発生地かもしれない。

例会の記録

八月六日(木)城南管工二階にて八時から開催。

瀬戸内むしの会の出島利明氏が特別参加。「衰退する地方同好会から抜け出る三つの方法」を講演いただいた。就

職まで金沢で暮らしていた氏にとつて、当会には強い思い入れがあり、熱のこもつた話となつた。ありがとうございました。

その他の話題は、医王山のヒサマツミドリ、オオトラが四十卵、ヤノトラトラップ、トゲフタオは出てこない、バックナンバースト、等々。参加は、出島、山岸、久慈、澤田、中西、井村、松井、細沼、野中(TEL参加)の九人。

例会の記録

九月三日(木)城南管工二階にて八時から開催。

今回は例年より一回多い見せびらかし例会で、「格調高い虫の三条件」と井村節も牙え渡る。稀にして美しく、ある程度の大きさが三条件。

持ち込まれた虫は、オオタマ、金沢のネプト、金沢のクノマチヨウ。

参加は、井村、久慈、中西、細沼、富沢親子、指田、矢田、竹谷、松井、山岸の十一人。【表紙デザイン…小幡英典】

倉員の動き・しゃべの動き

猛暑地獄の見越山で見たものは金沢の奥座敷はそう高くなく、真夏に出かける物好きはいない。きついアップダウンが続き、陽を遮るものもない。この猛暑地獄を突き、ゴマシジミに挑戦した久慈氏、七月だと言うのに現地はただならぬ秋の気配。脳裏をよぎる一抹の不安。痛みの激しい個体しか確認できなかった。

屋久島でライトトラップ
新婚早々の江崎氏、発電機を携えて屋久島に乗り込んだ。全行程テント泊の超ハードスケジュールに奥さんは同行せず。ほとんど毎日ライトに明け暮れ、成果はバツチリ。

いつまで経っても超多忙
真夏だと言うのに海岸で調査を続ける徳本氏、あれもこ

れもと任されて、首が回らなくなってきたどころか、腰や膝も曲がらなくなってきた。そんなこととは知らないで、調査の話は次から次へと舞い込むのだった。

ツマガグロヒヨウモン多産
早い時期から確認されているツマガグロヒヨウモン、各地で多数確認されている。中でも倉ヶ岳周辺に観察記録が多く、♀も観察されている。

ヤマチャリで通う倉ヶ岳
最近めつきり足が萎え、車で移動する横をチャリンコがすり抜けて行く。倉ヶ岳ツマガグロポイントに通う牧原氏は、体力が衰えたと言いつつも、ヤマチャリで疾走して行く。倉ヶ岳ポイント、まさしく足で稼いだポイントです。

燈火教室にモスラが飛んできた
七月三十一日、富沢、松井、澤田の三氏は、燈火採集教室。小さなコガネに興味を示し、ヘビトンボやオオミズアオに歓声をあげる参加者。教室最後にやってきたヤママユには「モスラ」の声があんなだ。

輪島市鉢伏山で車がトラブル
松井氏、アサギマダラを求めて鉢伏山へ向かったものの、頂上付近で車が故障。エンジンにはかかるが全く動かない。隣の高洲山自衛隊基地からJAFへ救援を求め、輪島の修理工場まで牽引される。車に穴があき、ミツシヨンオイルが抜けたとかで、代車で帰ってきた。

矢田氏、ぶらっと大倉岳
片道一時間を歩いてピークに立つが、ツマガグロヒヨウモンはいなかった。あきらめて車に戻ると、ツマガグロが舞っている。それも二頭。疲れも吹っ飛び、すかさずゲット。

翔

NO. 134

1998年10月10日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

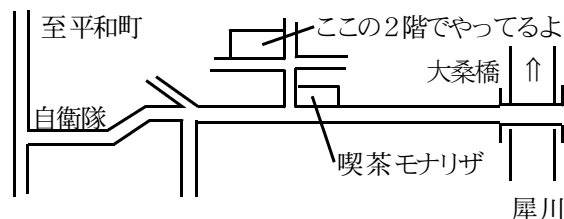
☎920-3121 ☎076-258-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から

TEL 参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (134号)

嵯峨井淳郎：河内村板尾のスギタニルリシジミ	1
嵯峨井淳郎・井沢國雄：ミスジチョウの早い記録	1
松井正人：金沢市でネプトクワガタを採集	2
松井正人：アカスジキンカメムシを採集	2
久慈一英：見越山のゴマシジミは大変	3
松井正人：日尾池のギフチョウ	4
松井正人：石川県のエゾゼミ	5
編集部：会員の動き・しゃばの動き	8